

沖縄だより

<http://peace.forum.com/okinawa-branch>

No. 6

2017年 3月25日

【発行】平和フォーラム沖縄事務所

tel/fax : 0980-43-0740

mail:peaceforum.okinawa@gmail.com

シュワブ前県民集会3500人、知事承認撤回を明言 山城議長が元気な姿で登壇

3月25日、「違法な埋め立て工事の即時中止・辺野古新基地建設断念を求める県民集会」が開催された。9時頃は激しい雨で心配だ。しかし、集会開始前には雨があがった。11市町村以上の各地から大型バスが送迎。私たちは名護から5台のバスが往復ピストン。5ヶ月間拘束されていた山城議長が保釈後初めて辺野古を訪れた。大会開始前に登壇し「全県、全国、世界から寄せられる激励を感じ、がんばることができた。心から御礼を申し上げる」と述べ、「どのような暴力が振るわれても、機動隊が何百、何千と来ても、私たちは県民の誇りある心を折ることはできない」と元気な山城節に、参加者は「博治コール」で応え感激なシーン。初めての辺野古集会に参加した翁長知事は、新たなステージ入っている。今日は山城博治さんの姿もあったようだ。今日を期して沖縄の新しい闘いが始まる、という意味で私も参加した。国のやり方は、米軍占領下を思い出す。銃剣とブルドーザーで家屋敷をたたき壊し、新しい基地を造って県民の住む場所を奪った。まったく同じ手法で、あの美しい大浦湾を埋め立てようとしている。米軍基地は沖縄経済発展の最大の障害要因だ。と述べた。政府は3月31日をもって切れる岩礁破碎期限を無視し、工事継続を明らかにしている。いよいよ第2弾の火ぶたが切られる。4月1日は、辺野古座り込み「1000日行動」がある。27日には山城議長らの第2回公判があり、那覇に行きます。翁長知事が埋め立て承認の撤回を表明する場として、キャンプ・シュワブ前集会の大舞台を選んだ。知事は国が岩礁破碎許可を得ずに新基地建設工事を進めた場合、工事の差し止め訴訟を提起する方針も示している



【行動日程】

3.27（月） 第2回公判に最大結集を！

午前11時～11時30分 傍聴券 正午～午後1時 城岳公園事前集会 午後1時30分 那覇地裁